

【松下電器グループ グリーン調達基準書に基づく】

「化学物質調査・環境負荷禁止物質不使用報告の扱い」の具体的運用

(化学物質管理ランク指針V e r 3 対応)

1. 運用目的	1
2. 適用範囲	1
3. 用語の定義	1
4. グリーン調達の運用について	2
5. 禁止物質レベル1の運用	3
6. 禁止物質レベル2の運用	4
7. 管理物質の運用	5
8. 化学物質調査の留意事項	7

添付資料

- ・表1 : 部材区分詳細と品目例
- ・表2 : 松下電器グループ 素材リスト バージョン2.2
- ・様式1 : 禁止物質含有調査シート
- ・様式2 : 管理物質含有調査シート
- ・記入例と注意事項
- ・含有調査シートに対するチェックシート
- ・化学物質調査日程について

2003年8月29日

松下電器産業株式会社

資材調達本部

環境本部

## 1. 運用目的

本書は松下電器グループの製品に使用する部品、部材等に含有される環境負荷物質について、「化学物質管理ランク指針バージョン3（製品版）」のグリーン調達における運用を明確にし、松下電器グループおよび部品、部材等の仕入先様に周知徹底し、製品の環境品質を維持、向上することを目的とするものです。

## 2. 適用範囲

「化学物質管理ランク指針バージョン3（製品版）」に準じます。

## 3. 用語の定義

### （1）禁止物質レベル1

- ・現在既に法規制により意図的な使用が禁止されている物質、あるいは環境通達で使用廃止を連絡している物質で使用している場合は即時使用中止する物質です。
- ・意図的な使用を禁止（ホルムアルデヒドは除く）し、仕入先様より不使用を保証して頂く物質です。

### （2）禁止物質レベル2

- ・禁止物質レベル1以外で条約・法令により、期限を定めて段階的に使用が禁止されている物質及び、松下電器グループとして使用廃止を積極的に推進する物質です。使用が確認された場合には代替の推進、使用廃止を期日までに行います。RoHS 指令対象物質につきましては、使用廃止のうえ仕入先様より不使用を保証していただきます。
- ・尚、RoHS 指令対象物質の納入禁止時期については、2005年4月以降出荷製品から使用廃止の対応が出来る様に、松下電器グループ内の各会社、関係会社毎に設定し、仕入先様に周知徹底してください。

### （3）管理物質

- ・「化学物質管理ランク指針バージョン2.1（製品版）」の削減、適正管理に替わるランクとして規定しました。意図的な使用を制限するものではありません。使用実態を把握し、リサイクル、適正処理を考慮すべき物質です。使用の有無および使用量についてデータの把握をします。

### （4）不使用保証

- ・禁止物質レベル1、禁止物質レベル2の対象物質（ポリ塩化ビニルは除く）について、基本的には意図的に使用されていない事を保証していただきます。意図的な添加がなく、かつ不純物の含有（天然素材中に含有され、精製過程で技術的に除去しきれない、または合成反応の過程で生じ除去できないもの）が想定される場合は、分析の上「禁止物質含有調査シート」を作成し提出ください。その恐れがないと判断する場合は、製造仕様

データにより該当物質の「禁止物質含有調査シート」を作成し提出ください。ホルムアルデヒドについては意図的な使用は禁止されていませんが、使用している場合は分析の上「禁止物質含有調査シート」を提出ください。

#### 4. グリーン調達の具体的な運用について

(1) 「製品に含まれる化学物質に関する不使用保証書」(以下、不使用保証書)および、「禁止物質含有調査シート」の発行について

- ・ 現行の納入部品・部材・製品の全て、および新規の納入部品・部材・製品について、該当物質の使用調査を行い、「禁止物質含有調査シート」(様式1)を提出ください(本調査シートは Excel ファイルです)。不使用の適合を確認出来た時点で、「不使用保証書」を発行して頂きます。不使用保証期間は、発行日以降それぞれの部品の使用及び生産が中止になるまで保証を継続するものとします。
- ・ 不使用保証の対象物質は、禁止物質レベル1、及び禁止物質レベル2(ポリ塩化ビニルを除く)です。
- ・ 不使用保証書は、禁止物質レベル1及び禁止物質レベル2にそれぞれ専用の用紙がありますので、間違いの無いようにご使用ください。
- ・ 現行部品についても、材料変更・生産場所変更(購入先変更含む)等の変更が発生した場合、都度「禁止物質含有調査シート」で不使用保証の確認を行っていただきます。「禁止物質含有調査シート」の提出理由の該当欄にチェックの上、必要事項を記入し提出ください。
- ・ 責任者印の責任者とは、含有調査シートに記載された内容を保証すると共に不測の事態(損害賠償の発生等)に対し会社の代表として責任を果たせる人となります。

(2) バージョン3発行に伴う禁止物質レベル1の不使用保証の見直しについて

- ・ 見直しを簡単にするため、「化学物質管理ランク指針バージョン2.1」で「禁止物質含有調査シート」を提出されている場合は以下の運用を可能とします。
  - ①見直しの対象物質は、追加されたホルムアルデヒドとします。
  - ②見直しの対象物質を使用していない場合は、既に提出されているバージョン2.1での「禁止物質含有調査シート」の記入日を訂正してください。
  - ③記入日訂正個所に責任者印を捺印してください。
  - ④「化学物質管理ランク指針バージョン3発行に伴う再提出」と書いて提出ください。

## 5. 禁止物質レベル1の運用

### (1) 運用方法

禁止物質レベル1については以下に示す化学物質調査により、全ての納入部品・部材・製品について該当物質の使用調査を行い、「禁止物質含有調査シート」(様式1; Excelファイル)を提出ください(なお、調査シート記入に際しましては、Excelファイルにあります「注意事項」シートを必ずお読み頂き、「チェックシート」を用いて記入内容が注意事項に則しているかをご確認ください)。また、全ての納入部品・部材・製品について不使用の適合が確認された場合は、「不使用保証書」を提出ください。

### (2) 化学物質調査

- ①「禁止物質レベル1」に該当の化学物質について、その使用状況を物質名ごとに調査をしてください。物質名に展開されていない化合物についても、使用している場合は「その他の化合物」(例:「その他のカドミウム化合物」)として報告してください。
- ②調査および回答は「禁止物質含有調査シート」(様式1)で行います。なお、仕入先コードの欄には、調査元がわかるようなコード又は名称を入力ください(例 M-N o.、連絡先の名前など)。
- ③該当する物質がない場合は、物質名欄に「該当なし」、化学物質含有量欄に「0」、不使用適合欄に「0」の3ヶ所に記入し、部品品番、部品名称等の必要事項を記入ください。
- ④該当する物質がある場合は、含有の有無の欄に「1」と記入し、物質ごとに物質群No.、物質名、CAS No.、あるいはM-N o.、使用部位、使用目的、含有量、等の必要事項を記入ください。
- ⑤事業場部品品番は松下電器グループで使用している部品品番を記入ください(グローバル品番がある場合はその品番を記入)。なお、シリーズ承認の部品についてはシリーズ品番ではなく部品毎の品番を個別に入力してください(事情によりシリーズ品番で調査を運用したい場合は、調査先と調査元と間で調整の上で実施してください)。
- ⑥部材区分コードは添付資料表1に示す区分に従って記入ください。
- ⑦物質群No. は「化学物質管理ランク指針バージョン3(製品版)」表6の物質群ごとのNo. を記入してください。
- ⑧物質名は「化学物質管理ランク指針バージョン3(製品版)」表6より該当する物質名、CAS No.、あるいはM-N o. を記入ください。
- ⑨素材コードは、部位を構成する素材に対する添付資料表2に示すコードを入力くださ

い。なお、部位を構成する素材が複数種類ある場合は部位の中で含有率が最も高い素材のコードを記入ください。

⑩含有量は、有効数字2桁の重量% (w t %) で記入ください。

$$\text{重量\% (w t \%)} = (\text{該当化学物質の含有量} / \text{使用部位の質量}) \times 100$$

⑪データの性格は製造仕様か分析かを選択し該当するものを記入ください。

⑫法律において数値規制がない場合は、意図的な添加を禁止しています。製造仕様データ（製造で意図的に使用している物質データ）で該当物質の「禁止物質含有調査シート」を作成し提出してください。

⑬法律において数値規制がある場合で、意図的な添加がなく、かつ不純物の含有（天然素材中に含有され、精製過程で技術的に除去しきれない、または合成反応の過程で生じ除去できないもの）が想定される場合は、分析の上「禁止物質含有調査シート」を作成し提出ください。その恐れがないと判断する場合は、製造仕様データにより該当物質の「禁止物質含有調査シート」を作成し提出ください。ホルムアルデヒドについては、意図的な使用は禁止されていませんが使用している場合は、分析の上「禁止物質含有調査シート」を提出ください。

⑭禁止物質が不使用であることの適合、不適合については、意図的な添加の有無および「化学物質管理ランク指針 Ver 3（製品版）」表1に示す法規制値を判断の基準として部材に含まれる禁止物質に対して判定してください（複数の禁止物質が含まれる場合はそれぞれの禁止物質に対して判定してください）。不純物混入の原因が明確であり適正な管理下にあること等を総合的に判断し、仕入先様で記入ください。

## 6. 禁止物質レベル2の運用

### (1) 運用方法

禁止物質レベル2については以下に示す化学物質調査により、全ての納入部品・部材・製品について該当物質の使用調査を行い、「禁止物質含有調査シート」（様式1；Excelファイル）を提出ください（なお、調査シート記入に際しましては、Excelファイルにあります「注意事項」シートを必ずお読み頂き、「チェックシート」を用いて記入内容が注意事項に則しているかをご確認ください）。全ての納入部品・部材・製品についてRoHS指令対象物質の不使用の適合が確認できた時点で「不使用保証書」を提出ください。

### (2) 化学物質調査

①「禁止物質レベル2」に該当の化学物質について、その使用状況を物質名ごとに調査をしてください。物質名に展開されていない化合物についても、使用している場合は

「その他の化合物」（例：「その他のカドミウム化合物」）として報告してください。

- ②調査および回答は「禁止物質含有調査シート」（様式1）で行います。なお、仕入先コードには、調査元がわかるようなコード又は名称を入力ください（例 M-N o.、連絡先の名前など）。
- ③該当する物質がない場合は、物質名欄に「該当なし」、化学物質含有量欄に「0」、不使用適合欄に「0」の3ヶ所に記入し、部品品番、部品名称等の必要事項を記入ください。
- ④該当する物質がある場合は、物質ごとに物質群No、物質名、CASNo、あるいはM-No、使用部位、含有量等の必要事項を記入ください。
- ⑤事業場部品品番は松下電器グループで使用している部品品番を記入ください（グローバル品番がある場合はその品番を記入）。なお、シリーズ承認の部品についてはシリーズ品番ではなく部品毎の品番を個別に入力してください（事情によりシリーズ品番で調査を運用したい場合は、調査先と調査元との間で調整の上で実施してください）。
- ⑥部材区分コードは添付資料表1に示す区分に従って記入ください。
- ⑦物質群No. は「化学物質管理ランク指針 Ver 3（製品版）」表6の物質群のNo. を記入ください。
- ⑧物質名は「化学物質管理ランク指針 Ver 3（製品版）」表6より該当する物質名、CASNo. あるいはM-No. を記入ください。
- ⑨素材コードは、部位を構成する素材に対する添付資料表2に示すコードを入力ください。なお、部位を構成する素材が複数種類ある場合は部位の中で含有率が最も高い素材のコードを記入ください。
- ⑩含有量は、有効数字2桁の重量%（wt%）で記入ください。  
$$\text{重量\% (wt\%)} = (\text{該当化学物質の含有量} / \text{使用部位の質量}) \times 100$$
- ⑪データの性格は製造仕様か分析かを選択し該当するものを記入ください。
- ⑫法律において数値規制がない場合は、製造仕様データ（製造で意図的に使用している物質データ）で該当物質の「禁止物質含有調査シート」を作成してください。
- ⑬法律において数値規制がある場合で、意図的な添加がなく、かつ不純物の含有（天然素材中に含有され、精製過程で技術的に除去しきれない、または合成反応の過程で生じ除去できないもの）が想定される場合は、分析の上「禁止物質含有調査シート」を作成し提出ください。その恐れがないと判断する場合は、製造仕様データにより該当物質の「禁止物質含有調査シート」を作成し提出してください。

- ⑭不使用保証の適合、不適合については、意図的な添加の有無、法規制値および「化学物質管理ランク指針 Ver 3（製品版）」表 4 で示されている適用除外などを判断の基準とし部材毎に判定してください（複数の禁止物質が含まれる場合はそれぞれの禁止物質に対して判定してください）。不純物混入の原因が明確であり適正な管理下にあること等を総合的に判断し、仕入先様で記入ください。禁止物質レベル 2 を含むにも関わらず不使用保証を適合とした場合はその理由を備考欄に記入ください。また、不使用保証が不適合の場合は、代替案がある場合は変更時期を、代替案がない場合は理由を備考欄に記入ください。

## 7. 管理物質の運用

### (1) 運用方法

管理物質については以下に示す化学物質調査により、全ての納入部品・部材・製品について該当物質の使用調査を行い、「管理物質含有調査シート」（様式 2 ; Excel ファイル）を提出ください（なお、調査シート記入に際しましては、Excel ファイルにあります「注意事項」シートを必ずお読み頂き、「チェックシート」を用いて記入内容が注意事項に則しているかをご確認ください）。また、現在運用中の「化学物質調査シート Ver. 5」（Excel ファイル）を一部改訂したものでも行うことが可能です（この場合は、禁止物質レベル 1 およびレベル 2 のデータについても併せて記入ください）。なお、「化学物質調査シート Ver. 5」の改訂版の導入については、別途連絡いたします。（2003 年度下期からの予定）。

### (2) 化学物質調査

- ①「管理物質リスト」に記載の化学物質について、その使用状況を物質名ごとに調査をしてください。物質名に展開されていない化合物についても、使用している場合は「その他の化合物」（例：「その他のビスマス化合物」）として報告してください。
- ②調査および回答は「管理物質含有調査シート」（様式 2）で行います。なお、仕入先コードには、調査元がわかるようなコード又は名称を入力ください（例 M-N o.、連絡先の名前など）。
- ③該当する物質がない場合は、物質名欄に「該当なし」、化学物質含有量欄に「0」の 2 ヶ所に記入し、部品品番、部品名称等の必要事項を記入ください。
- ④該当する物質がある場合は、物質ごとに物質群 N o.、物質名、C A S N o.、あるいは M-N o.、使用部位、使用目的、含有量、等の必要事項を記入ください。
- ⑤事業場部品品番は松下電器グループで使用している部品品番を記入ください（グロー

バル品番がある場合はその品番を記入)。なお、シリーズ承認の部品についてはシリーズ品番ではなく部品毎の品番を個別に入力してください(事情によりシリーズ品番で調査を運用したい場合は、調査先と調査元との間で調整の上で実施してください)。

- ⑥部材区分コードは添付資料表1に示す区分に従って記入ください。
- ⑦製造で意図的に使用している部材データで含有量を算出し記入ください。分析を求めるものではありません。「化学物質管理ランク指針 Ver 3 (製品版)」表5に基づき、1000ppm以上の含有、あるいは意図的使用について報告ください。
- ⑧物質群No. は「化学物質管理ランク指針 Ver 3 (製品版)」表6の物質群ごとのNo. を記入ください。
- ⑨物質名は「化学物質管理ランク指針 Ver 3 (製品版)」表6より該当する物質名、CAS No、あるいはM-Noを記入ください。
- ⑩素材コードは、部位を構成する素材に対する添付資料表2に示すコードを入力ください。なお、部位を構成する素材が複数種類ある場合は部位の中で含有率が最も高い素材のコードを記入ください。
- ⑪含有量は、有効数字2桁の重量% (w t %) で記入ください。

$$\text{重量\% (w t \%)} = (\text{該当化学物質の含有量} / \text{使用部位の質量}) \times 100$$

## 8. 化学物質調査の留意事項

- ①金属元素で指定されている場合の含有量は、化合物に含まれる金属元素の量に換算した数値を記入ください。換算係数は物質リストに記載の換算係数を使用ください。リストにないものについては分子式より算出して使用しその旨を注記ください。

(例) 金属換算値計算例

CAS No. 12344-40-0 ヨウ化銀水銀(Ag<sub>2</sub>HgI<sub>4</sub>)の場合

分子量=107.8×2+200.6+126.9×4=923.8

水銀への金属換算係数=200.6/923.8=0.217

銀への金属換算係数=(107.8×2)/923.8=0.233

ヨウ素への金属換算係数=(126.9×4)/923.8=0.550

各元素の原子量については、周期表、原子量表等で確認のこと

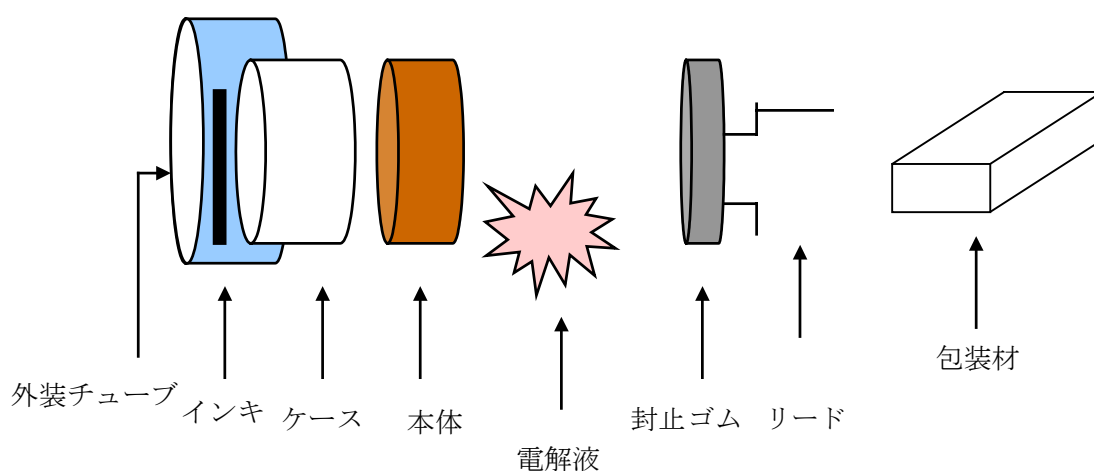
- ②複数の調査対象化学物質に該当する場合は、それぞれの物質ごとに含有量、使用部位、使用目的等を記入ください。

(例) クロム酸鉛 (PbCrO<sub>4</sub>) 100mg を含有する場合は、対象化学物質が二つあるので「鉛及びその化合物」の換算係数 0.641 と「六価クロム化合物」の換算係数 0.161 を使い、両方の項目に含有量を記入ください。



- ③同一化学物質で使用部位が 2 箇所以上ある場合は、合算せずにその対象化学物質を使用部位ごとに分けて記入ください。
- ④製造工程で使用される化学物質で製品に残留しない物質は対象としません。従って、溶剤、洗浄剤、発泡材等、製造工程に使用されるが、製品に残留しない物質は対象外となります。
- ⑤含有の有無および含有量算出にあたっては、自社の製造時に含有しているものだけではなく、調査対象アイテムを構成する購入部品や材料に含有する化学物質についてもさかのぼって調査を行ってください。

例 電気部品（コンデンサ-）の場合



- ⑥以下の製品・部位は、調査対象物質を含有する場合がありますので、十分な確認をお願いします。
- ・ ベアリングやレバー等の可動部分を有する部品に使用のグリス等の潤滑剤
  - ・ 樹脂材料やリード線被覆の難燃剤、安定剤
  - ・ ベルト、ローラー、ブッシュ、チューブ等のゴム類の添加剤
  - ・ カラーコードなどの表示塗料、印刷用インキ
- ⑦使用部位は、調査対象部品の構成図面・納入仕様書、構成材料リスト等で記載されているものを使用部位とします。上記電解コンデンサーの例を参考に出来るだけ構成単位ごとに調査をお願いします。

# 添付資料

表 1

部材区分詳細と品目例（2003.8改訂）

部材区分		該当する部材
コード	名称	
1	原材料	部品を加工する前の材料
21	電気・電子部品	半導体 シリコンダイオード、整流素子、トランジスタ、サーミスタ、バリスタ、サイリスタ、 光電変換素子(発光ダイオード、レーザダイオード、カプラ・インカプラ)、半導体集積回路、混成集積回路
22		液晶 液晶表示デバイス
23		CRT CRT
24		受動部品 抵抗器、コンデンサ、変成器(高周波変成器、電源変圧器、フライバックトランス、偏向ヨーク)、水晶振動子、フィルタ
25		接続部品 コネクタ、ソケット、スイッチ、リレー、キーボード
26		変換部品 スピーカ、マイクロホン、ステレオヘッドホン、磁気ヘッド、小型モータ
27		プリント配線板 プリント配線板(リジッド配線板、フレキシブル配線板)
29		その他の 電気・電子部品 上記「半導体」～「プリント配線板」で例示されていないすべての電気・電子部品 例：ヒューズ、電子部品をアセンブリした部品(AC/DCアダプタ、ハードディスク、マウス 他)
3	機構部品	・原材料を機械加工又は成形加工して得られ、電子機器の構造用として使用される部品 (例：機構外装部品、樹脂成形品、金属加工部品、放熱板、ビス、ワッシャ、他) ・単一原材料を加工して得られた部材
51	取扱説明書	松下電器グループで製造する製品ののための取扱説明書
61	包装材	松下電器グループで製造する製品に使用するために仕入先より納入される包装材 (例：テレビ出荷梱包用の発泡スチレン)
4	その他	上記分類に該当しないすべての部品 (例：電線、ラベル、紙、滑り止めゴム 他)

\*主な改訂内容

2003.8:「51取扱説明書」、「61包装材」を追加。それに伴い、「3機構部品」、「4その他」の該当部材を変更。

表 2

## 「松下電器グループ 素材分類リスト バージョン2. 2」

コード	詳細	素材詳細名称
0101	鉄鋼	一般鋼(0.20%C<)
0102	鉄鋼	炭素鋼(0.20%C>)
0103	鉄鋼	合金鋼(Si,Mn,P,Mo,Cr etc)
0104	鉄鋼	処理鋼[塗装鋼板(塗料込み)]
0105	鉄鋼	処理鋼[塩ビ鋼板(塩ビ込み)]
0106	鉄鋼	処理鋼[メッキ鋼板]
0107	鉄鋼	処理鋼[その他処理鋼]
0108	鉄鋼	特殊鋼[電磁鋼板]
0109	鉄鋼	特殊鋼[制振鋼板]
0110	鉄鋼	特殊鋼[その他]
0111	鉄鋼	ステンレス鋼(マルテンサイト・オーステナイト・フェライト)
0190	鉄鋼	その他の鉄鋼(鑄鉄など)
0201	銅	純銅(Cu(導線材は別項目))
0202	銅	黄銅(Cu-Zn)
0203	銅	青銅(Cu-Sn)
0204	銅	ベリリウム銅(Cu-Be-Co)
0290	銅	その他の銅合金
0301	アルミニウム	アルミ合金1000(Al)
0302	アルミニウム	アルミ合金2000/3000/etc(Cu,Mn,Mg,Sn,Zn)
0303	アルミニウム	アルミ合金6000
0304	アルミニウム	アルミ合金ダイカスト(Al-Si-Cu)
0390	アルミニウム	その他のアルミニウム
0401	貴金属	Au(金)及びAu合金
0402	貴金属	Ag(銀)及びAg合金
0403	貴金属	Pt(白金)及びPt合金
0404	貴金属	Pd(パラジウム)及びPd合金
0490	貴金属	その他の貴金属
0501	その他非鉄金属	Be(ベリリウム)及びBe合金
0502	その他非鉄金属	Bi(ヒスマス)及びBi合金
0503	その他非鉄金属	Cd(カドミウム)及びCd合金
0504	その他非鉄金属	Co(コバルト)及びCo合金
0505	その他非鉄金属	Cr(クロム)及びCr合金
0506	その他非鉄金属	Cs(セシウム)及びCs合金
0507	その他非鉄金属	Ga(ガリウム)及びGa合金
0508	その他非鉄金属	Hg(水銀)及びHg合金
0509	その他非鉄金属	Hf(ハフニウム)及びHf合金
0510	その他非鉄金属	In(インジウム)及びIn合金
0511	その他非鉄金属	Li(リチウム)及びLi合金
0512	その他非鉄金属	Mg(マグネシウム)及びMg合金
0513	その他非鉄金属	Mn(マンガン)及びMn合金
0514	その他非鉄金属	Mo(モリブデン)及びMo合金
0515	その他非鉄金属	Nb(ニオブ)及びNb合金
0516	その他非鉄金属	Ni(ニッケル)及びNi合金
0517	その他非鉄金属	Pb(鉛)及びPb合金
0518	その他非鉄金属	Re(レニウム)及びRe合金
0519	その他非鉄金属	Sb(アンチモン)及びSb合金
0520	その他非鉄金属	Si(シリコン)及びSi合金
0521	その他非鉄金属	Sr(ストロンチウム)及びSr合金
0522	その他非鉄金属	Ta(タンタル)及びTa合金
0523	その他非鉄金属	Ti(チタン)及びTi合金
0524	その他非鉄金属	Tl(タリウム)及びTl合金
0525	その他非鉄金属	V(バナジウム)及びV合金
0526	その他非鉄金属	W(タングステン)及びW合金
0527	その他非鉄金属	Y(イットリウム)及びY合金

0528	その他非鉄金属	Zn(亜鉛)およびZn合金
0529	その他非鉄金属	Zr(ジルコニウム)及びZr合金
0530	その他非鉄金属	Sn(錫)及びSn合金
0590	その他非鉄金属	その他の非鉄金属
0601	半田・ろう	Sn-Pb共晶半田
0602	半田・ろう	Sn-Pb半田(90:10)
0603	半田・ろう	鉛フリー半田(Sn-Ag-Bi)
0604	半田・ろう	鉛フリー半田(Sn-Cu)
0605	半田・ろう	鉛フリー半田(Sn-Ag-Cu)
0606	半田・ろう	鉛フリー半田(Sn-Ag-Cu-Bi)
0607	半田・ろう	鉛フリー半田(Sn-Zn-Bi)
0608	半田・ろう	鉛フリー半田(Sn-Bi)
0609	半田・ろう	鉛フリー半田(Sn-Ag-Bi-In)
0610	半田・ろう	ろう接合金(BCu-P)
0690	半田・ろう	その他の半田・ろう
0701	磁性材・焼結合金	ソフトフェライト(Mn-Zn)
0702	磁性材・焼結合金	アルニコ(Al-Ni-Co)
0703	磁性材・焼結合金	フェライト(BaO-FeO)
0704	磁性材・焼結合金	コバルト(Sm-C)
0705	磁性材・焼結合金	ゴムマグネット(冷蔵庫ドアなど)
0706	磁性材・焼結合金	焼結合金(Fe-Cu)
0790	磁性材・焼結合金	その他の磁性材・焼結合金
0801	導線構成材	導体材(Cu,Al)
0802	導線構成材	被覆材(PVCなど)
0890	導線構成材	その他の導線構成材
0901	熱可塑性樹脂	ポリエチレン(低密度)(PE-LD)
0902	熱可塑性樹脂	ポリエチレン(高密度)(PE-HD)
0903	熱可塑性樹脂	ポリプロピレン(PP)
0904	熱可塑性樹脂	ポリ塩化ビニル(PVC)
0905	熱可塑性樹脂	ポリメタクリル酸メチル(PMMA)
0906	熱可塑性樹脂	ポリスチレン(PS)
0907	熱可塑性樹脂	発泡ポリスチレン(EPS)
0908	熱可塑性樹脂	アクリロニトリル-スチレン樹脂(AS)
0909	熱可塑性樹脂	アクリロニトリル-ブタジエン-スチレン樹脂(ABS)
0910	熱可塑性樹脂	アクリロニトリル-アクリル-スチレン樹脂(AAS)
0911	熱可塑性樹脂	ポリカーボネート(PC)
0912	熱可塑性樹脂	ポリアセタール(POM)
0913	熱可塑性樹脂	ポリアミド6(PA6)
0914	熱可塑性樹脂	ポリアミド66(PA66)
0915	熱可塑性樹脂	ポリアミド12(PA12)
0916	熱可塑性樹脂	ポリイミド(PI)
0917	熱可塑性樹脂	ポリエチレンテレフタレート(PET)
0918	熱可塑性樹脂	ポリブチレンテレフタレート(PBT)
0919	熱可塑性樹脂	変性PPE(PS+PPE)
0920	熱可塑性樹脂	PC+ABS
0921	熱可塑性樹脂	PC+PS
0990	熱可塑性樹脂	その他の熱可塑性樹脂
1001	ゴム・エラストマー	天然ゴム(NR)
1002	ゴム・エラストマー	合成ゴム(IR,BR,etc.)
1090	ゴム・エラストマー	その他のゴム・エラストマー

1101	熱硬化性樹脂	フェノール樹脂(PF)
1102	熱硬化性樹脂	ユリア樹脂(UF)
1103	熱硬化性樹脂	エポキシ樹脂(EP)
1104	熱硬化性樹脂	メラミン樹脂(MF)
1105	熱硬化性樹脂	不飽和ポリエステル(UP)
1106	熱硬化性樹脂	ポリウレタン(EPUR)
1107	熱硬化性樹脂	発泡ポリウレタン(EPUR)
1190	熱硬化性樹脂	その他の熱硬化性樹脂
1201	ガラス	ソーダガラス
1202	ガラス	石英ガラス
1203	ガラス	電気ガラス
1204	ガラス	鉛ガラス
1205	ガラス	液晶関連ガラス
1290	ガラス	その他ガラス
1301	セラミック	アルミナ(Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )
1302	セラミック	シリカ(SiO <sub>2</sub> )
1390	セラミック	その他のセラミック
1401	繊維	金属繊維
1402	繊維	植物繊維(セルロースなど)
1403	繊維	化学繊維(ポリエステル繊維、アラミド繊維など)
1404	繊維	ガラス繊維
1405	繊維	炭素繊維
1490	繊維	その他繊維
1501	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[HCFC-123]
1502	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[HCFC-124]
1503	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[HCFC-22]
1504	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[HFC-23]
1505	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[HFC-32]
1506	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[HFC-125]
1507	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[HFC-134a]
1508	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[HFC-143a]
1509	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[HFC-152a]
1510	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[混合-404A]
1511	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[混合-407A]
1512	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[混合-407C]
1513	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[混合-407E]
1514	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[混合-410A]
1515	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[混合-507A]
1516	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[炭化水素-290、フロハソ]
1517	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[炭化水素-600a、イソブタン]
1518	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[アンモニア-717]
1519	冷媒・断熱用ガス	冷媒用ガス[炭酸ガス]
1520	冷媒・断熱用ガス	冷却液(エチレングリコール)
1521	冷媒・断熱用ガス	冷却液(ポリエチレングリコール)
1522	冷媒・断熱用ガス	断熱用ガス[HCFC-141b]
1523	冷媒・断熱用ガス	断熱用ガス[HCFC-142b]
1524	冷媒・断熱用ガス	断熱用ガス[シクロペンタン]
1590	冷媒・断熱用ガス	その他の冷媒・断熱用ガス
1601	木材・紙類	木材(梱包・包装・取説)
1602	木材・紙類	ダンボール紙(梱包・包装・取説)
1603	木材・紙類	印刷紙(梱包・包装・取説)
1604	木材・紙類	パルプモルト(梱包・包装・取説)
1690	木材・紙類	その他の木材・紙類
1701	その他	冷凍機油
1790	その他	その他

## (拡張素材コード)

9000	インク*	インク(黒)
9002	インク*	インク(赤)
9004	インク*	インク(黄)
9005	インク*	インク(緑)
9009	インク*	インク(白)
9099	インク*	インク(その他)
9100	塗料*	塗料(黒)
9102	塗料*	塗料(赤)
9104	塗料*	塗料(黄)
9105	塗料*	塗料(緑)
9109	塗料*	塗料(白)
9199	塗料*	塗料(その他)
9299	蛍光体	蛍光体(蛍光塗料など)
9301	接点合金	接点合金(Ag(銀)-Cu(銅)系)
9302	接点合金	接点合金(Ag(銀)-Cd(カドミ)系)
9309	接点合金	接点合金(その他)
9409	表面処理	表面処理(メッキ)
9499	表面処理	表面処理(化成処理,溶射,蒸着,その他)
9500	添加物	添加物(顔料・染料(黒))
9502	添加物	添加物(顔料・染料(赤))
9504	添加物	添加物(顔料・染料(黄))
9505	添加物	添加物(顔料・染料(緑))
9509	添加物	添加物(顔料・染料(白))
9599	添加物	添加物(顔料・染料(その他))
9600	添加物	添加物(難燃剤)
9609	添加物	添加物(充填剤)
9619	添加物	添加物(抗菌剤)
9629	添加物	添加物(滑剤)

\*注) インク、塗料は顔料を含む

<主な改訂内容>

・2003.8改訂:①拡張素材コードの追加 ②「530 Sn及びSn合金」を追加

「化学物質管理ランク指針Ver3(製品版)」 禁止物質 含有調査シート

調査元(弊社)

10	会社名	
11	事業場コード	(半角)
12	部署名	
13	担当者名	
14	電話番号	
15	E-mail	

提出理由

該当する場合は“1”と入力して下さい

20	新規部品・部材	
21	現行部品の変更理由:	

調査先(仕入先様)

30	記入日	YYYY/MM/DD
31	会社名	責任者 印
32	仕入先コード	
33	部署名	
34	記入者名	
35	電話番号	
36	E-mail	

※記入に当たっては、「注意事項」シートを必ずお読み下さい

40 ■禁止物質レベル1

レベル	No.	事業場 部品品番	メーカー 部品品番	部品、部材名称	部材区分 コード	物質群 No.	物質名	CASNo. or M-No	化学物質 の使用部 位	化学物質の 使用部位を 構成する素 材の素材コ ード	化学物質 の 使用目的	化学物質の 使用部位の 質量(g)	化学物質 含有量 (wt%)	データの性格 0:製造仕様 1:分析	禁止物質 レベル1の 含有の有 無 0:無1:有	禁止物質レベル1の不使用 0:適合 1:不適合
(半角)	(半角)	(半角)	(半角)		(半角)	(半角)		(半角)		(半角)		(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)
1																
1																
1																
1																
1																
1																
1																
1																
1																
1																
1																
1																
1																
1																

50 ■禁止物質レベル2

レベル	No.	事業場 部品品番	メーカー 部品品番	部品、部材名称	部材区分 コード	物質群 No.	物質名	CASNo. or M-No	化学物質 の使用部 位	化学物質の 使用部位を 構成する素 材の素材コ ード	化学物質 の 使用目的	化学物質の 使用部位の 質量(g)	化学物質 含有量 (wt%)	データの性格 0:製造仕様 1:分析	禁止物質 レベル2の 不使用 0:適合 1:不適合	備考欄 <記入内容> ・代替案への変更時期 ・代替案が無い場合の理由 ・適用除外とした理由
(半角)	(半角)	(半角)	(半角)		(半角)	(半角)		(半角)		(半角)		(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)
2																
2																
2																
2																
2																
2																
2																
2																
2																
2																
2																
2																
2																
2																
2																

「化学物質管理ランク指針Ver3(製品版)」 管理物質 含有調査シート

調査元(弊社)

10	会社名	
11	事業場コード	(半角)
12	部署名	
13	担当者名	
14	電話番号	
15	E-mail	

※記入に当たっては、「注意事項」シートを必ずお読み下さい

調査先(仕入先様)

30	記入日	
31	会社名	
32	仕入先コード	
33	部署名	
34	記入者名	
35	電話番号	
36	E-mail	

60 ■管理物質 (「ランク」の記入列には"99"と記入して下さい)

ランク	No.	事業場 部品番	メーカー 部品番	部品、部材名称	部材区分 コード	物質群No.	化学物質名	CASNo. or M-No.	化学物質の 使用部位	化学物質の 使用部位を 構成する素材 の素材コード	化学物質の 使用目的	化学物質 の使用部 位の 質量(g)	使用部位に対す る含有量(wt%)
(半角)	(半角)	(半角)	(半角)		(半角)	(半角)		(半角)		(半角)		(半角)	(半角)
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													
99													

記入例

ランク	No.	事業場 部品番	メーカー 部品番	部品、部材名称	部材区分 コード	物質群No.	化学物質名	CASNo. or M-No.	化学物質の 使用部位	化学物質の 使用部位を 構成する素材 の素材コード	化学物質の 使用目的	化学物質 の使用部 位の 質量(g)	使用部位に対す る含有量(wt%)
(半角)	(半角)	(半角)	(半角)		(半角)	(半角)		(半角)		(半角)		(半角)	(半角)
99	1	PAR0001	ABC001	IC	21	K-1	三酸化アンチモン	1309-64-4	封止樹脂	1103	封止	10	0.2
99	2	PRK0001	ABC002	LSI	21	K-4	ビスマス	7440-69-9	半導体端子	101	メッキ	1	0.15
99													



記入例と注意事項

J1 (様式1)

「化学物質管理ランク指針Ver3(製品版)」 禁止物質 含有調査シート

調査元がわかるようなコード又は名称を入力  
例:M-No. 連絡先の名前

メーカー品番がない場合は、事業場品番を入力

「化学物質調査・環境負荷禁止物質不使用報告の扱い」の具体的な運用”表1を参照

調査元(弊社)	
10 会社名	松下電器産業(株)
11 事業場コード	12345
12 部署名	××部
13 担当者名	松下 太郎
14 電話番号	06-1234-5678
15 E-mail	*****

提出理由 該当する場合は“1”と入力して下さい

20	新規部品・部材	
21	現行部品の変更	1

理由:生産場所変更のため

調査先(仕入先様)

30	記入日	2003/09/08	YYYY/MM/DD
31	会社名	××工業	
32	仕入先コード	12345	
	名	××部	
	番名	××××	
	番号	03-9876-5432	
	mail	*****	

責任者印

「化学物質管理ランク指針Ver.3」を参照

使用部位で含有率が最も高い素材のコードを記入  
「化学物質調査・環境負荷禁止物質不使用報告の扱い」の具体的な運用”表2を参照

レベル1のみ記入

40 ■禁止物質レベル1

レベル	No.	事業場 部品品番	メーカー 部品品番	部品、部材名称	部材区分 コード	物質群 No.	物質名	CASNo. or M-No.	化学物質 の使用部 位	化学物質 の使用部 位	化学物質 の使用部 位の 質量(g)	化学物質 含有量 (wt%)	データの性格 0:製造仕様 1:分析	禁止物質 レベル1の 含有の有 無 0:無1:有	禁止物質レベル1の不適用 0:適合 1:不適合
(半角)	(半角)	(半角)	(半角)		(半角)	(半角)		(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)
1	1	PAN0001	ABC0001	電源コード	4	17	ステアリン酸カドミウム	2223-93-0	被覆樹脂	0906	安定剤	15	0.15	0	1
1	1	PAN0001	ABC0001	電源コード	4	19	硫化カドミウム	1306-23-6	被覆印刷	9004	インキ	0.0001	0.001	1	0
1	1	PAN0001	ABC0001	電源コード	4	5	デカブロモジフェニルエーテル	1163-19-5	カブラ樹脂	0990	難燃剤	5	5	0	1
1	1	PAN0001	ABC0001	電源コード	4	17	ステアリン酸カドミウム	2223-93-0	ヒニルタイト	0906	安定剤	1	5	1	1
1	2	PAM0001	ABC0002	ゴム	1	3	トリブチルスズ	668-34-8	シリコン樹脂	0990	不純物	10	0.001	1	0
1	3	PAL0001	ABC0003	固定抵抗器	24		該当なし					0		0	0

1つの部品で対象の化学物質が複数種類含有する場合は行を分けて入力して下さい。  
分けた行のこの部分は、空欄や「同上」、「#」など使用しないで、対象部品の1行目のデータをコピーして下さい。

1つの部品で対象の化学物質が全く含まれない場合は、  
①物質名欄に「該当なし」、  
②化学物質含有量欄に「0」  
③不使用適合欄に「0」  
の3ヶ所に記入して下さい。  
(管理物質含有調査では、①、②のみ)

入力行(化学物質)毎に法規制値や適用除外などを考慮して適合、不適合の判断を行って下さい。

50 ■禁止物質レベル2

レベル	No.	事業場 部品品番	メーカー 部品品番	部品、部材名称	部材区分 コード	物質群 No.	物質名	CASNo. or M-No.	化 学 物 質 の 使 用 部 位	化 学 物 質 の 使 用 部 位	化 学 物 質 の 使 用 部 位 の 質 量 (g)	化 学 物 質 含 有 量 (wt%)	データの性格 0:製造仕様 1:分析	禁止物質 レベル2の 不使用 0:適合 1:不適合	備考欄 <記入内容> ・代替案への変更時期 ・代替案が無い場合の理由 ・適用除外とした理由
(半角)	(半角)	(半角)	(半角)		(半角)	(半角)		(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)	(半角)
2	1	PAN0001	ABC0001	電源コード	4	18	鉛	7440-92-1	フラク金属	0201	半田付け	10		0	2004.4に代替予定
2	3	PAM0001	ABC0002	ゴム	1		該当なし					0		0	
2	4	PAL0001	ABC0003	固定抵抗器	24	18	その他の鉛化合物	M-122	電極	1301	低融点	0.00005	2	0	電子セラミック部品の鉛であるため適用除外

<全般的な注意点>  
・セルが空欄にならないように、各項目にデータを記入して下さい。  
(但し、禁止物質or管理物質を全く含まない場合は除く)  
・数値、コード類は、半角で入力して下さい。  
・セル結合は、行わないで下さい。  
・勝手に列を追加しないで下さい。  
・行が足りない場合は追加して下さい。  
(行追加の際には、左側にあります「レベル」欄にも数字を記入して下さい。)

## 含有調査シートに対するチェックシート

記入頂きました含有調査シート(禁止物質、管理物質)が「注意事項」シートでお願いしておりました内容に則しているかどうかを本チェックシートを用いて確認頂き、含有調査シートと共に提出して下さい。

### 調査元(弊社)

会社名	
事業場コード	
部署名	
担当者名	
電話番号	
E-mail	

### 調査先(仕入先様)

記入日	
会社名	
仕入先コード	
部署名	
記入者名	
電話番号	
E-mail	

	確認内容	確認できている場合=○
1	記入すべき箇所で空欄になっていたり、「同上」、「//」が記入されているセルはありませんか？ (但し、禁止物質or管理物質を全く含まない場合は除きます)	
2	数値、コード類は、半角で入力されていますか？	
3	セルを結合している箇所はありませんか？	
4	列を追加した箇所はありませんか？	
5	1つの部品で対象の化学物質が全く含まれない場合は、①物質名欄に「該当なし」、②化学物質含有量欄に「0」、③不使用適合欄に「0」の3ヶ所に記入されていますか？ ((管理物質含有調査では、①、②のみ)	
6	禁止物質の不使用の適合、不適合の判断は、入力行(化学物質)毎に法規制値や適用除外などを考慮して適合、不適合の判断がされていますか？	

化学物質管理ランク指針Ver3(製品版)発行に伴う  
化学物質調査対象日程について

		<div style="display: flex; justify-content: space-between; border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> <span>03/3</span> <span>/8 /9 /10 /12</span> <span>04/2 /3 /4 /5</span> <span>/8 /9</span> </div>											
V e r 3	禁止物質レベル1											→	:不使用保証書の提出は12月31日迄。 (不使用保証の不適合部品・部材は別途調整)
	禁止物質レベル2 (RoHS指令対象4物質)											→	:不使用保証書の提出は12月31日迄。 (不使用保証の不適合部品・部材は別途調整)
	管理物質											→	:10月から使用の有無及び使用量のデータ把握。
V e r 2.1	禁止物質レベル1	→											:不使用保証書の提出は3月31日迄。 (不使用保証の不適合部品・部材は別途調整)
	禁止物質レベル2											→	:9月30日迄に含有量を調査。
	削減・適正管理物質											→	:2004年3月31日迄に使用の有無及び 使用量のデータ把握。